

◆西應寺

去る四月二十三日(土)二十四日(日)、西應寺の永代経法要 が執行されました。今回の布教使は大阪教区教務所長の熊谷正明先生です。ご法話の後にサクセスの演奏をしていただきました。



寺本浩伸

「上を向いて歩こう」「浪花節だよ人生は」「ジョニイへの伝言」など皆さんがよくご存じの曲を披露していただきました。先生のすばらしい演奏で、参拝された方々も大いに楽しみ、盛り上がり上がっていました。仏恩報謝の場であり、ご法義を聴聞する場であることはもちろんのことですが、今後は、時代に応じて門信徒の皆さんに親しみを持っていただく寺でありたいと願っています。

◆各寺報恩講日程

日程	曜	寺院名	地区	時程	ご講師
9/24	土	西教寺	萩之庄	10時,14時	藤本文隆 師
9/24	土	西教寺	春日町	14時,19時	堀川憲慧 師
9/25	日	西教寺	春日町	9時半	堀川憲慧 師
10/29	土	圓正寺	道鶴町	14時,19時	熊谷正明 師
10/30	日	圓正寺	道鶴町	10時,14時	熊谷正明 師
11/3	祝	圓成寺	京口	14時	宮部誓雅 師
11/5	土	久宝寺	大手町	14時,17時	当山副住職
11/6	日	久宝寺	大手町	10時	弘山光祿 師
11/6	日	西法寺	東天川	10時,14時	未定
11/12	土	西法寺	梶原	14時,19時	鷺山諦住 師
11/12	土	西應寺	大塚	14時,19時	野村康治 師
11/13	日	西應寺	大塚	14時	野村康治 師
11/20	日	尊重寺	冠	10時半,14時	植木正隆 師
11/27	日	普賢寺	須賀町	10時半,14時	藤 正史 師
11/26	土	法善寺	西冠	10時,14時	古山款夫 師
12/3	土	安楽寺	辻子	14時,19時	栄 俊英 師
12/3	土	正覚寺	野田	14時,19時	李平博昭 師
12/3	土	西證寺	大塚	14時,19時	未定
12/4	日	安楽寺	辻子	10時,14時	栄 俊英 師
12/4	日	正覚寺	野田	10時,14時	李平博昭 師
12/4	日	西證寺	大塚	14時	未定
12/10	土	一念寺	下田部	10時,14時	寺本正尚 師
12/17	土	善立寺	大塚	14時	小林顯英 師
12/18	日	善立寺	大塚	14時	小林顯英 師

◆また会える

久宝寺 服部晃永



お墓参りに行きますと、「俱会一処(くえいつしよ)」と刻まれたお墓を目にすることがあります。俱会一処とは、『仏説阿弥陀経』に出てくる一文で「俱(とも)に一つの処(ところ)で会う」、同じ阿弥陀さまのお浄土でまた共に会わせていただくという意味です。昨年末に、僧侶の友人が亡くなりました。未だ二十九歳の命でした。訃報を聞き、中陰の間にその方の寺にお参りに行きました。ご家族の話では、胃がんで亡くなり、闘病中は誰にも知らせないでくれと頼まれていたそうです。遺影を見るといつもの元気な彼の姿がありました。涙をこらえながらも阿弥陀経のお勤めをさせていただき、途中「俱会一処」のご文が目に入り、さみしくも、少しほっとしたきもちになりました。

友人とこの娑婆世界ではもう会うことはできません。しかし、友人は身をもって、いろいろなことを私に伝えてくださいました。

「限りある人生だぞ、限りある人生をどう生きるのか、お念仏を申し、またお浄土で会おうな」と呼びかけてくださっているように思いました。

阿弥陀さまは、この私を必ず浄土に生まれさせ、仏にさせると願われ、今「南無阿弥陀仏」と、この私にはたらいとくださっています。私たちの命、いつ終わるか分からない命ではありますが、命の縁尽きるとき、同じ俱会一処のお浄土で、先に逝かれた方々と、仏として「また会える」と思うと、別れは寂しいばかりではないと思いました。

合掌

◆組長ごあいさつ

島上南組 だより

浄土真宗本願寺派
2016年(平成28年)7月
第4号
編集・発行
高槻市大塚町西證寺内
島上南組実践運動委員会

島上南組組長 尾崎貞良



「待つ長さ 過ぎ去る速さ 生きる今」
今年も早、七月。一年の半分が過ぎ去り、時の流れの速さを感じる昨今です。

昨年島上南組設立五十周年の大きな節目の年でした。

先人から伝えられた「いのち」と「お念仏」を喜び受け止め、次世代へと伝える

「く想いは今も この地から」をテーマに、記録と記憶に残る記念大会を開催することが

できました。その様子を第3号でお知らせしてきました。

今回、第4号の発行より組の広報誌として、組の行事や活動

をお伝えし、「いのちの喜び・躍動」とともに、島上南組五十一年

目からの歴史と記録を、皆様と共に刻んで行きたいと思えます。

お念仏を喜ぶ我ら御同朋。限りないいのちに抱か、今を助け合って生き抜かせて頂きましょう。



◆二〇一六(平成二十八)年度

島上南組新役員のみなさん



◆島上南組

- 組長 尾崎貞良 西證寺
- 副組長 会計担当 内海知量 西法寺(梶原)
- 同 教化担当 本田一成 正覚寺
- 同 庶務担当 藤井 弦 西教寺(萩之庄)
- 会計監査 奥野誠映 善立寺

◆総代会

- 会長 玉村圭二 圓正寺
- 副会長 佐々木敏雄 安楽寺
- 書記 門川 進 西應寺
- 会計 津田敏次 法善寺
- 土井 勉 尊重寺



◆仏教婦人会

- 会長 辻井順子 安楽寺
- 副会長 松村恵子 安楽寺
- 書記 溝口紀代子 西證寺
- 尾本恵美子 西教寺(萩之庄)
- 中井成子 尊重寺
- 西島佳子 法善寺
- 長谷川洋子 一念寺



◆若婦部会

部長 土井真由美 法善寺
 副部長 小西博美 善立寺
 書記 内本賀与 圓正寺
 塚本みどり 西教寺(萩之庄)
 本田弥奈子 正覚寺
 高島和子 一念寺
 井上明美 西法寺(東天川)
 尾崎潔子 西證寺
 庶務



◆寺族婦人会

会長 尾崎潔子 西證寺
 副会長 奥野香代子 善立寺
 会計 榎場由幾子 普賢寺

◆揚風会

会長 榎場清久 普賢寺
 副会長 寺本浩伸 西應寺
 会計 諸橋 匠 尊重寺



◆総代会より

総代会会長 玉村圭二

三月三十一日(木)に島上南組一日研修会が行われました。島上南組十七ヶ寺、百七名で神戸市須磨区にある浄土真宗本願寺派信行寺を参拝しました。信行寺は一九九五年の阪神大震災で本堂・庫裏とも全焼。門信徒とともに四年後に寺が復興を遂げるまでの歩みを住職より伺いました。その後「人と防災未来センター」「白鶴酒造資料館」を見学して帰途につきました。



六月二十三日(木)から一泊二日で本願寺へ念仏奉仕に行ってきました。今回は二年前につづき二回目の参拝になりました。本願寺念仏奉仕団は今年で五十周年をむかえ、毎年二万人もの人が奉仕されています。この日は全国から三二一名の方が念仏奉仕に参加されました。

◆仏教婦人会より

仏教婦人会副会長 溝口 紀代子

六月二十日より一泊にて本願寺の念仏奉仕に七十七名の参加で行ってまいりました。滴翠園(飛雲閣)境内の清掃奉仕の後、記念撮影、ご面接、ご法話と暑い中一日が終わりました。二日目は、早朝より雨の中晨朝参拝、両堂でのお勤めその後は、十七名の帰敬式を経て清掃奉仕、閉会式と無事に日程を終了致しました。皆様のご協力に感謝申し上げます。



◆若婦部会より

若婦部副部長 小西博美

第三回若婦研修は三月八日に奈良県吉野方面に参加者四十一名で行きました。下市町にある「立興寺」では「唯円大徳」と「歎異抄」のお話を聞き唯円大徳のお墓を参拝しました。吉野町にある「本善寺」では蓮如上人自らの寺院を建てられたお話を伺い、上人の墓所と歴代門主分骨の納骨堂を参拝しました。いろいろな所に行き浄土真宗の教えを頂けるのは若婦にとつて楽しく学べて良いことだと思ひ、これからもたくさんの方々に参加されるような行事に取り組んでいきたいと思ひます。



◆揚風会より

尊重寺 諸橋 匠



去る六月十一日に揚風会主催「第二九回仏教講演会」を現代劇場にて開催しました。今回は講師に大橋紀恵先生を迎え、「地域に生きるピハハラ活動」というテーマでお話いただきました。先生は(安息の場所)を意味する「ピハハラ」という仏教用語を理念に病院や介護施設などで三十年近く活動され、また自らのお寺の側では、行政と連携し「子育て広場」を運営されています。「住んでいる地域それぞれに安心できる場所を！」という先生の想ひ、言葉聞き、今後のお寺の有り様、役割を考えるきっかけになった講演会でした。



◆寺院紹介

◆安楽寺

松村弘道

安楽寺で行う行事の中で大切な報恩講と永代経について前住職はいつの法要も本堂にいったばいの参拝者を迎えてお勤めしたいという思いがありました。ずっと前に「参拝者が少ないことについて、お寺は何か努力をしているか？」と門徒さんからのご意見がありました。住職はドキッとしたのだと思ひます。



法要前には仏婦さんによる仏具のお磨き、総代さんは仏華活けと当日の幕張り等の準備と受付の仕事がされます。夜のお座では毎月練習されている仏婦のコーラスを中心に開扉・献供・仏教讃歌や童謡をお参りの皆さんと一緒に歌います。二目目のお昼は仏婦・坊守合作の手作りお齋をお参りの皆様と寺の家族みんなが本堂で戴きます。門徒中の皆さんがお寺のためにと、一生懸命に思つて下さっています。おかげさまで四座全してお参り下さる方、遠くからお参りの方もいらつしやいます。

前住職の遺志を継いで安楽寺は仏さま、親鸞聖人のお話を聞きに来て下さる方で本堂が満堂になるように、時代にあつた努力を考えていきたいと思つています。

